

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「東京都認知症専門医療機関実態調査」は、都内の医療機関の認知症に関する診療体制を調査することにより、初診や入院等の各段階における医療資源の分布・活用状況を把握し、都における認知症への医療支援体制の検討のための基礎資料とするものです。

(2) 調査対象

都内の全ての病院及び認知症関係 3 学会(日本神経学会、日本老年医学会及び日本老年精神医学会)に所属する医師が勤務する都内の診療所(歯科診療所を除く)

(3) 調査方法

自記入式による郵送による。

(4) 調査期間

平成 19 年 8 月 20 日から同年 10 月 26 日まで
(回答基準日は、平成 19 年 8 月 1 日現在とする。)

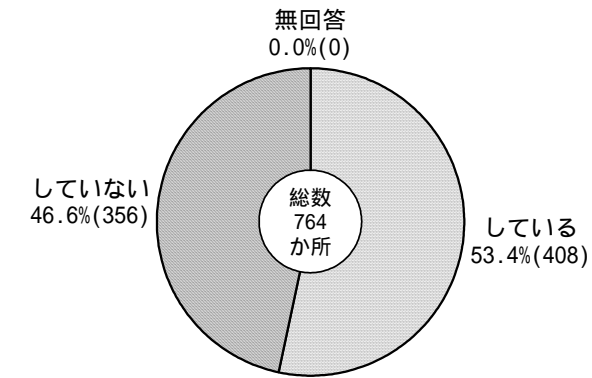
(5) 調査の実施状況

医療機関種別	対象数	回収数	回収率
病院	655	550	84.0%
診療所	360	214	59.4%
合計	1,015	764	75.3%

(6) 分析の対象

調査対象とした医療機関のうち、認知症患者への対応(認知症診断・治療、身体疾患発症時の対応のいずれでも可)をしている 408 か所について分析の対象としました。

【認知症患者への対応をしている医療機関】

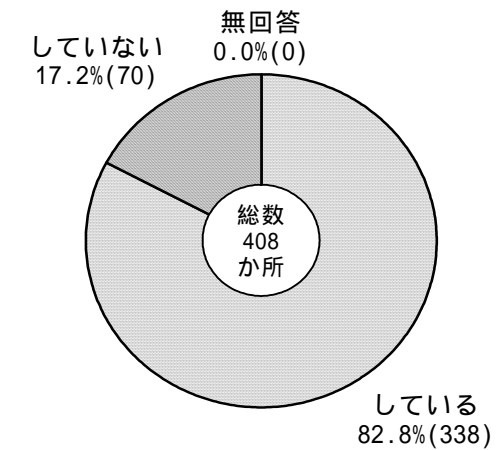


2 調査結果の概況

(1) 認知症の診断・治療

認知症患者への対応を行っている医療機関(408 か所)のうち、認知症の診断・治療をしているのは、全体の 82.8%でした。

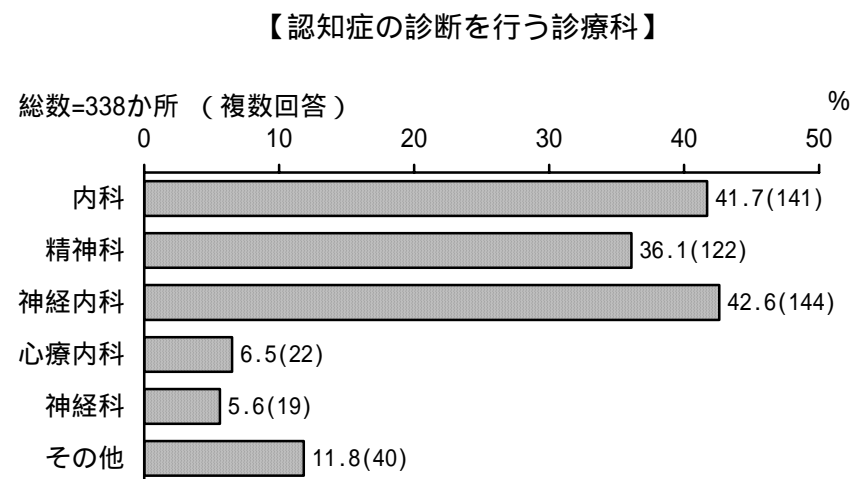
【認知症の診断・治療をしている医療機関】



(2) 認知症の診断を行う診療科

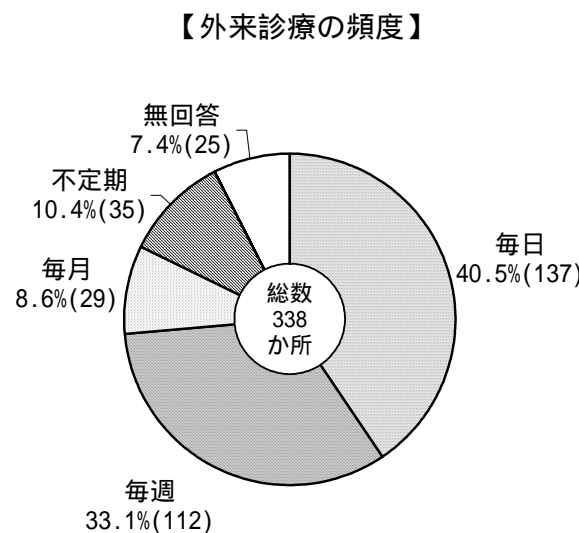
認知症の診断・治療をしている医療機関(338 か所)のうち、認知症の診断を行う診療科としては、神経内科が42.6%で最も高く、次いで内科41.7%、精神科36.1%でした。

「その他」の診療科(自由記述)では、「脳神経外科・脳外科」(18 か所)、「老年病科」(10 か所)、「リハビリテーション科」(4 か所)、「高齢医学科」(2 か所)、「老年内科」(2 か所)、「総合診療科」「心療科」「老人外来」(各1 か所)が挙げられました。



(3) 外来診療の頻度

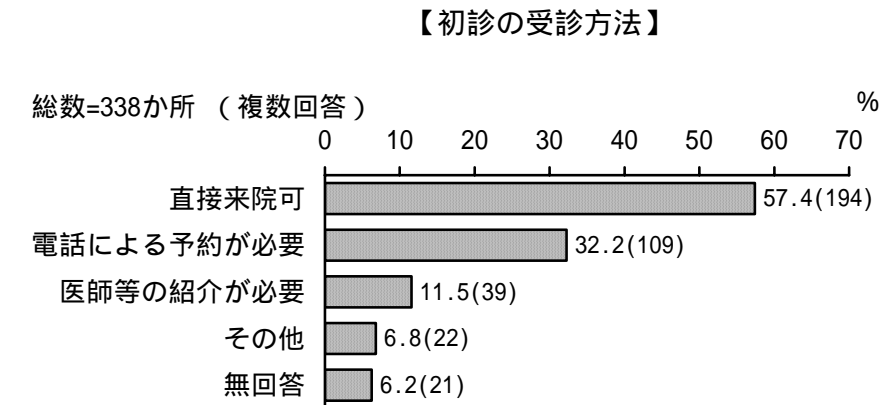
認知症の診断を行う外来診療の頻度については、40.5%の医療機関が毎日行うと回答しました。また、毎週診療を行っていると回答した医療機関が33.1%あることから、全体の約4分の3で、常時診療体制が整っているといえます。



「毎週」「毎月」は、回答に記入のあった頻度にかかわらず集計しました。

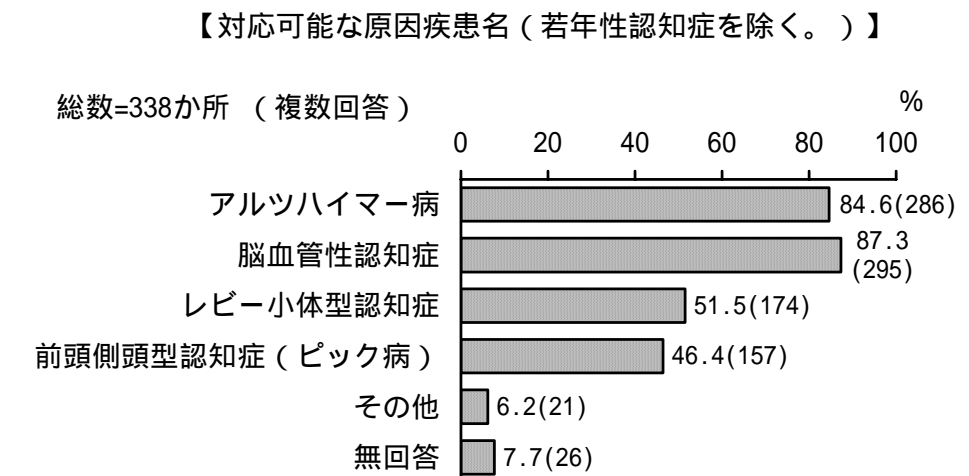
(4) 初診の受診方法

認知症患者の初診時の対応については、全体の57.4%が直接来院可と回答しました。



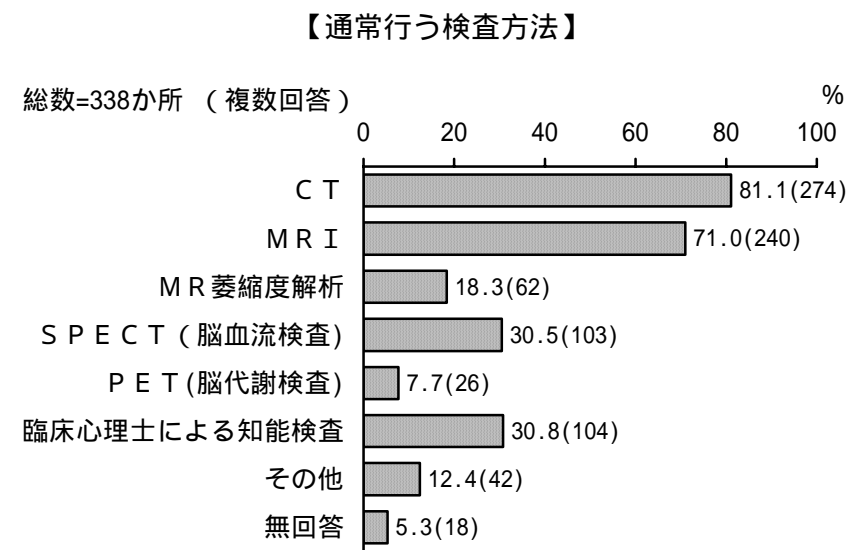
(5) 対応可能な原因疾患名

認知症の診療で対応可能な原因疾患名(若年性認知症を除く。)では、脳血管性認知症が87.3%、アルツハイマー病が84.6%と高率だったのに対し、レビー小体型認知症では51.5%、前頭側頭型認知症(ピック病)では46.4%にとどまりました。



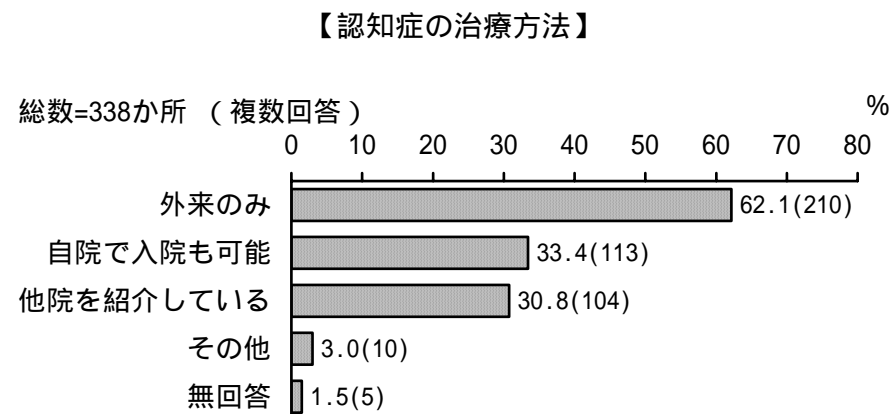
(6) 通常行う検査方法

認知症の診断に当たって通常行う検査方法(他の医療機関に依頼する場合も含む)については、CTが最も多く81.1%、次いでMRIが71.0%でした。



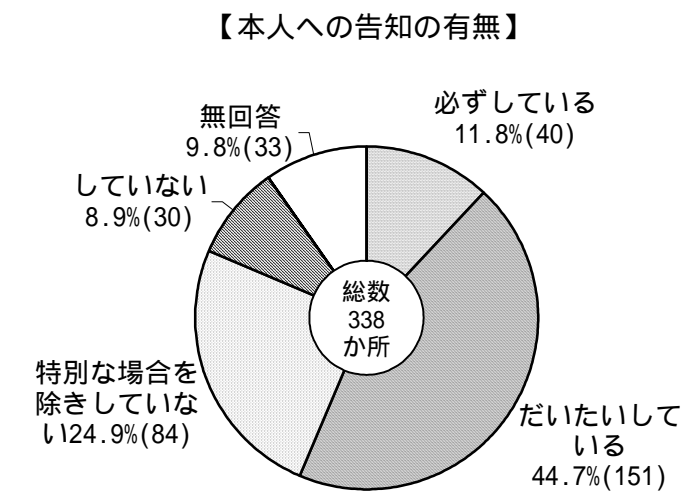
(7) 認知症の治療方法

認知症の治療方法では、外来のみと回答した医療機関が最も多く、62.1%でした。「他院を紹介している」の紹介先としては、精神科のある病院が最も多く挙げられ、次いで老年科や老年病科などのある医療機関が挙げられました。



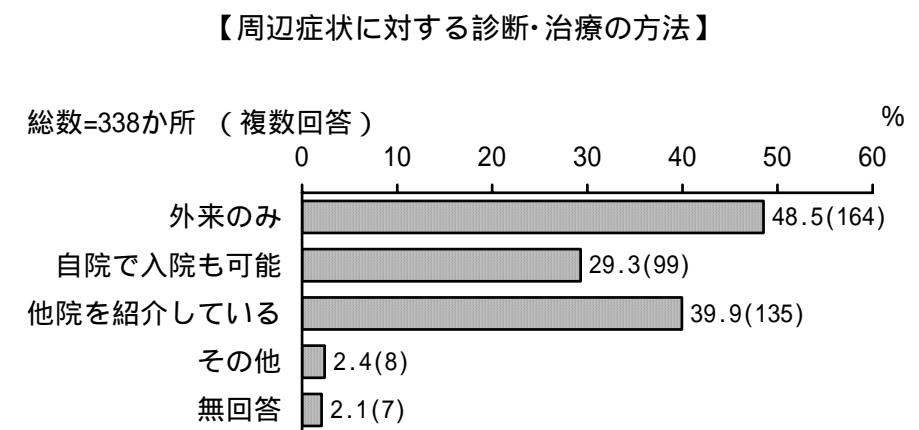
(8) 病状の告知

患者本人に対する病状の告知については、全体の過半数で「必ずしている」「だいたいしている」と回答した一方、「していない」「特別な場合を除きしていない」も全体の約3分の1を占めました。



(9) 周辺症状に対する診断、治療の方法

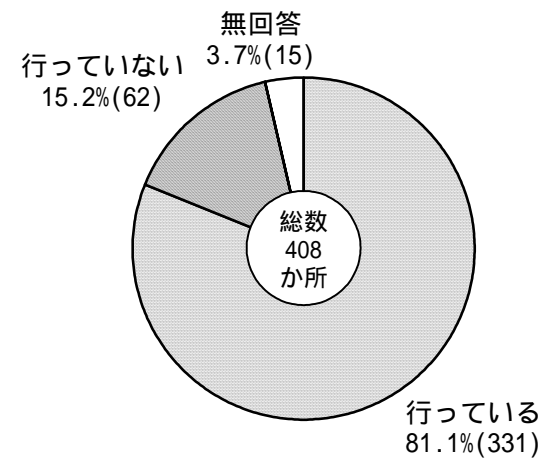
周辺症状のある患者への対応では、外来のみで対応していると回答した医療機関が48.5%、自院で入院も可能が29.3%、必要に応じて他院を紹介しているという回答が39.9%でした。



(10) 身体疾患の治療

認知症患者への対応をしている医療機関(408 か所)に対して、身体合併症がある認知症患者に対して治療を行っているかどうかを尋ねたところ、全体の8割以上が治療を行っていると回答しました。

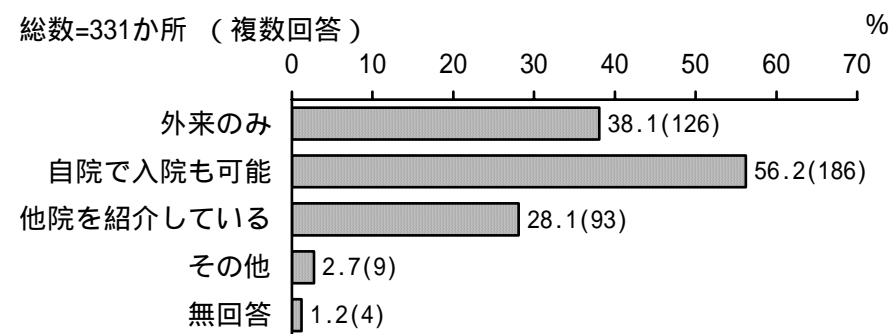
【身体合併症の治療の有無】



(11) 身体疾患の治療の方法

身体合併症がある認知症患者に対する治療を行っている医療機関(331 か所)に対し、治療について尋ねたところ、56.2%が自院で入院可能と回答しました。

【身体合併症の診断・治療の方法】



(12) 地域のかかりつけ医との連携

認知症患者への対応をしている医療機関(408 か所)に対して、地域の「かかりつけ医」との連携について尋ねたところ、「確定診断の依頼に応じている」が31.1%、「行っていない」も37.7%を占めました。

「その他」として自由記述に記載のあった20か所のうち、自院がかかりつけ医としての役割を果たしている旨の記載のあった医療機関が9か所と多数を占めました。

【地域のかかりつけ医との連携】

